

議案第 23 号

大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

平成 30 年 2 月 26 日提出

大田原市長 津久井 富雄

大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

大田原市国民健康保険税条例（昭和34年条例第10号）の一部を次のように改正する。
第2条第1項を次のように改める。

前条の者に対して課する国民健康保険税の課税額は、世帯主及びその世帯に属する国民健康保険の被保険者につき算定した次に掲げる額の合算額とする。

- (1) 基礎課税額（国民健康保険税のうち、国民健康保険に関する特別会計において負担する国民健康保険事業に要する費用（国民健康保険法（昭和33年法律第192号）の規定による国民健康保険事業費納付金（以下この条において「国民健康保険事業費納付金」という。）の納付に要する費用のうち、栃木県の国民健康保険に関する特別会計において負担する高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）の規定による後期高齢者支援金等（以下この条において「後期高齢者支援金等」という。）及び介護保険法（平成9年法律第123号）の規定による納付金（以下この条において「介護納付金」という。）の納付に要する費用に充てる部分を除く。）に充てるための国民健康保険税の課税額をいう。以下同じ。）
- (2) 後期高齢者支援金等課税額（国民健康保険税のうち、国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用（栃木県の国民健康保険に関する特別会計において負担する後期高齢者支援金等の納付に要する費用に充てる部分に限る。）に充てるための国民健康保険税の課税額をいう。以下同じ。）
- (3) 介護納付金課税被保険者（国民健康保険の被保険者のうち、介護保険法第9条第2号に規定する第2号被保険者であるものをいう。以下同じ。）につき算定した介護納付金課税額（国民健康保険税のうち、国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用（栃木県の国民健康保険に関する特別会計において負担する介護納付金の納付に要する費用に充てる部分に限る。）に充てるための国民健康保険税の課税額をいう。以下同じ。）

第2条第2項中「前項」の次に「第1号」を加え、同項ただし書中「510,000円」を「520,000円」に改め、同条第3項中「第1項」の次に「第2号」を加え、同項ただし書中「160,000円」を「170,000円」に改め、同条第4項中「第1項」の次に「第3号」を加え、「（国民健康保険の被保険者のうち介護保険法第9条第2号に規定する被保険者であるものをいう。）」を削り、同項ただし書中「140,000円」を「160,000円」に改める。

第3条第1項中「100分の7.0」を「100分の5.5」に改める。

第4条中「39,000円」を「32,000円」に改める。

第5条中「100分の1.5」を「100分の2.0」に改める。

第6条中「9,000円」を「12,000円」に改める。

第8条中「12,000円」を「14,000円」に改める。

第11条第1項中「第1期 6月1日から同月30日まで」を削り、「第2期」を「第

1期」に、「第3期」を「第2期」に、「第4期」を「第3期」に、「第5期」を「第4期」に、「第6期」を「第5期」に、「第7期」を「第6期」に、「第8期」を「第7期」に、「第9期」を「第8期」に改め、「第10期 翌年3月1日から同月29日まで」を削る。

第20条中「510,000円」を「520,000円」に、「160,000円」を「170,000円」に、「140,000円」を「160,000円」に改め、同条第1号ア中「27,300円」を「22,400円」に改め、同号イ中「6,300円」を「8,400円」に改め、同号ウ中「8,400円」を「9,800円」に改め、同条第2号中「(昭和33年法律第192号)」を削り、同号ア中「19,500円」を「16,000円」に改め、同号イ中「4,500円」を「6,000円」に改め、同号ウ中「6,000円」を「7,000円」に改め、同条第3号ア中「7,800円」を「6,400円」に改め、同号イ中「1,800円」を「2,400円」に改め、同号ウ中「2,400円」を「2,800円」に改める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の大田原市国民健康保険税条例の規定は、平成30年度以降の年度分の国民健康保険税について適用し、平成29年度分までの国民健康保険税については、なお従前の例による。